

[特集]

9

農村文化を新しいカタチで発信

鞍掛山のふもとに広がる小松市滝ヶ原地区。新しいファームが拠点となり、移住者と住民と一緒に里山の魅力を発信しています。



「農的暮らし」を体験できる場所

TAKIGAHARA

移住者が中心となり、古民家を改装して誕生。カフェ、宿泊施設、工房などがあり、食や体験を通して「農的暮らし」の魅力を新しいカタチで伝えています。ここでの出会いがライフスタイルを見つめなおすきっかけにもなりそうです。

MAP P35・特9-1
①小松市滝ヶ原町ウ-4
☎0761-46-5621
https://takigahara.com/



自分らしい特別な旅をクリエイト

TAKIGAHARA CRAFT&STAY

古民家を改装したホステル。空間を一流のインテリアやクラフトが満ち、発想を刺激してくれます。農体験をしたり、ワーケーションしたりと自分らしい過ごし方を楽しんで。

MAP P35・特1-46 / 要予約
①泊 Bunk Bed Room 1名3,300円〜/Band Room 1名5,600円〜、1名追加ごとに+5,000円(4名宿泊時は合計24,000円)/Director's Suite 1部屋16,800円〜
ディナーの詳細は要確認

ナチュラルワインが楽しめるMOSS BARも併設



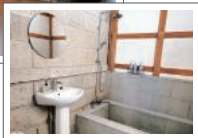
有名デザイナーによる家具がレイアウトされている。敷地内の工房では木地を挽いたり漆器制作を見学することも

築80年の石蔵で過ごす静かな時間

TAKIGAHARA HOUSE

石文化が息づく滝ヶ原ならではの、石蔵を改装した1棟貸し切りの宿泊棟。蔵の佇まいを生かしつつモダンな雰囲気生まれ変わった空間でプライベートな時間を過ごせます。

MAP P35・特1-45 / 要予約
①泊(1組限定4名まで)1部屋21,000円〜
※CRAFT&STAYのディナーを利用可能(予約制)



1階はリビングとバスルーム、2階はベッドルーム

「珠玉と歩む物語」小松〜時の流れの中で磨き上げた石の文化〜が日本遺産に認定!

石の里・滝ヶ原

滝ヶ原の石文化の歴史は古く、弥生時代には碧玉の産地であり、玉つくりといわれる加工技術も発達しました。江戸後期からは滝ヶ原石の採掘が始まり、その石切場跡が多く残されています。町の5カ所に架かるアーチ型の石橋は明治から昭和期に築かれたもので、趣ある景観を生み出しています。



明治後期に作られたアーチ型の石橋

里山の知恵と面白さを次世代へ

里山自然学校こまつ滝ヶ原

里山に囲まれ、石材や農業、ものづくりなど多彩な文化を持つ滝ヶ原。その魅力を伝える拠点として、地域の廃校舎が自然学校に生まれ変わりました。住民も塾長となり、里山を体験できるイベントを開催しています。

MAP P35・特9-2 / 要予約
①小松市滝ヶ原町ウ-20
☎0761-65-2436、090-5680-1548
http://satoyama-komatsu.com/

滝ヶ原の文化遺産には物語があり、それを伝えていくことが私たちの役目です。

里山自然学校こまつ滝ヶ原 学校長 山下 豊さん



里山に生息する昆虫や石橋に関する展示も



里山の生き物調査やウォーキングなどのイベント情報はHPで発信

山麓育ちの

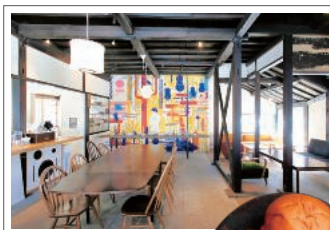
野菜を創作料理で

TAKIGAHARA CAFE

地産地消がテーマ。滝ヶ原産の食材を使った創作料理など里山の旬が感じられるメニューが楽しめます。地元でとれた季節の果物を使ったジュースもぜひ。

☎10:30~18:00 火曜定休
※営業時間と定休日は変更の場合 詳細は上記HPをチェック

スペインのデザイナーが描いたアートが目を引く



ブンチャーバーガー 1800円は、石川県産のしし肉とファームの採れたて卵を使った新感覚バーガー



山頂付近に

完成した交流スペース

山の学校 鞍掛山

登山客が集う山小屋で、自然の写真などを展示。「無事帰る」の意味で、地元の石彫刻士中谷篁氏が作ったカエル像が近くの広場に飾られています。



森林浴や

バードウォッチングを!

鞍掛山

標高477.7mで、馬に掛ける鞍のような形をした山。10カ所の登山ルートがあり、地元では気軽に登れる山として親しまれています。



小松 滝ヶ原